

KOBE AWAY PRESS (仮)

For the Vissel Kobe fan of the Kanto living

Free!!

5 港めぐり号 2010.10.16 Kick Off

私達にはアウェイ戦のゴール裏をクリムゾンレッドで埋め尽くすという夢があります。一人でも多くのヴィッセル神戸サポーターにアウェイ観戦の楽しさを届けたい。KOBE AWAY PRESS (仮)はこうした思いから生まれた情報紙です。KOBE AWAY PRESS (仮)は関東サポーター有志により自主的に制作されています。

今こそ原点に立ち返れ！和田ヴィッセル関東再上陸



0-3で京都に敗れた翌日の9月12日、ヴィッセル神戸に激震が走った。三浦俊也監督の解任である。

昨年8月15日の広島戦から指揮を取り、辛くも残留を果たした三浦ヴィッセルだったが、今年は開幕の京都戦で、2-0と快勝したものの、22節終了時点で5勝11敗6分(ナビスコは2勝3敗1分で予選敗退)と残念ながら降格争いを演じてしまっていた。

後任は昨年もカイオ・ジュニオールの後継に指揮を取った和田昌裕。生粋の神戸人だ。和田新監督は地元、御影高校を卒業後、順天堂大学を経て松下電器(現ガンバ大阪)に入部。そして1995年に地元ヴィッセル神戸に移籍。

97年の引退までヴィッセルでの成績は46試合出場2得点(JFLのみ)。主に左サイドバックを任されていた。その和田新監督に託された指名は、ずばり「残留」である。彼が指揮を取った3戦(リーグ戦)は、いずれも原点に立ち返った高い位置でのプレスと鋭いカウンターが蘇った。これは、スチュワート・パクスター、松田浩が作り上げてきたヴィッセルの原点だ。三浦前監督が作った「負」の遺産を和田ヴィッセルが、どう立て直すのか?

その和田ヴィッセルが、いよいよ関東にやってくる!彼の手腕に注目しながら横浜F・マリノス、アルビレックス新潟戦を刮目(かつもく)しよう。残された時間は少ないが、我々関東サポーターも声を嚷らして和田ヴィッセルを後押ししようではないか!

YOSHITO STRIKES BACK!!

和田体制となった我がヴィッセル。川崎戦では相手の術中に嵌ったものの、改善が見られることは間違いない。しかし攻撃の「あと一つ」が足りない。まるで、あの男の帰りを待っているかのように。

嘉人はいつも怪我に泣かされてきた。スペインでも代表でも、神戸でも。しかしその度に障害を克服し、ついに南アフリカにピッチで活躍。見事に夢の舞台に立った彼は、一部の否定派をあざ笑うかのようにキレのあるプレーを連発。神戸の誇り、日本の誇りとして我々の眼に映ったのは記憶に新しい。

術後のリハビリの経過も順調と見え、新聞各紙も「救世主」の練習再開に注目。本人も横浜戦を復帰の照準としていることを表明した。

さてこの試合、期待される先発組合せは数多あれど、恐らく茂木とのコンビであろう。

「残留」が目標となってしまったチームの「最終兵器」として、再び私たちの前で躍動する姿を見せたい。

10月17日、横浜に集う神戸サポーターはその目撃者となるか。

THINK BACK 2007



J1 復帰3戦目のvs横浜@日産ス(1-4勝利)。嘉人のヴィッセル初ゴールの日でもある。アツの骨折欠場の影響もあり左1.5~2列目で先発。嘉人・近藤・レアンドロ・康造で流動的にチェンジを繰り返しながら試合を作り、嘉人は2ゴールを決める。得点:大久保(38'、87')、レアンドロ(65'、81')

マスコット研究所

第3回

DATA マリノス君&マリノスケ
海と航海の象徴のカモメがモチーフ

複数のマスコットがいる場合、家族だったり、恋人だったり、ただのお友達だったりするのが普通だけど、マリノスケはマリノス君の甥にあたるという少々特殊な関係。

『ゼネコンSに勤めていたマリノスケパパと航空会社Aの客室乗務員のマリノスケママの間にマリノスケは生まれた。しかし、ゼネコンSが経営破綻してパパがリストラされ、ママが家計を支えなければならなくなったことから、マリノスケはパパの兄で自動車会社N勤務のマリノス君に預けられた。』なんていうのは勝手な妄想です。

ちなみに球団非公式のワルノスというキャラクターもいるが謎につつまれている。



2010 年度日程

節	対戦相手	日時	会場	勝敗・得点	節	対戦相手	日時	会場	勝敗・得点
11	ジュビロ磐田	5月 8日(土) 19:00	H ホームズ	○ 3-0	23	サンフレッチェ広島	9月 18日(土) 13:00	A 広島ビ	△ 1-1
12	セレッソ大阪	5月 15日(土) 17:00	A 長居スタ	● 1-2	24	セレッソ大阪	9月 25日(土) 15:00	H ホームズ	△ 0-0
13	FC東京	7月 17日(土) 18:30	A 味スタ	△ 2-2	25	川崎フロンターレ	10月 2日(土) 13:00	H ホームズ	● 0-4
14	大宮アルディージャ	7月 25日(日) 18:00	H ホームズ	○ 3-1	26	横浜F・マリノス	10月 17日(日) 13:00	A 日産スタ	● -
15	ガンバ大阪	7月 28日(水) 19:00	H ホームズ	● 1-3	27	名古屋グランパス	10月 23日(土) 19:00	H ホームズ	○ -
16	鹿島アントラーズ	7月 31日(土) 19:00	A カシマ	● 0-3	28	ガンバ大阪	10月 30日(土) 16:00	A 万博	● -
17	浦和レッズ	8月 8日(日) 18:00	H ホームズ	○ 1-0	29	ベガルタ仙台	11月 6日(土) 14:00	H ホームズ	○ -
18	湘南ベルマーレ	8月 14日(土) 18:00	H ホームズ	△ 0-0	30	アルビレックス新潟	11月 14日(日) 19:30	A 東北電ス	● -
19	ジュビロ磐田	8月 18日(水) 19:00	A ヤマハ	● 2-3	31	鹿島アントラーズ	11月 20日(土) 14:00	H ホームズ	○ -
20	モンテディオ山形	8月 22日(日) 18:00	A NDスタ	△ 0-0	32	大宮アルディージャ	11月 23日(火) 17:00	A NACK5	○ -
21	FC東京	8月 28日(土) 19:00	H 神戸ユニバー	△ 0-0	33	清水エスパルス	11月 27日(土) 14:00	H ホームズ	○ -
22	京都サンガF.C.	9月 11日(土) 18:00	A 西京極	● 0-3	34	浦和レッズ	12月 4日(土) 15:30	A 埼玉スタ	● -

*印刷工程にかかる日数の関係で勝敗・得点の記載をしていない日程があります。あなたの手で日程表を完成させてください!

日曜19:30のドラマ in 新潟

後期日程のキックオフ時間が発表になったとき思わず出た言葉「なんやねん19:30って!」。神戸からはアクセスしにくい新潟だが、東京からは新幹線、高速道路と比較的アクセスしやすい立地ではある。しかし、日曜日の19:30キックオフ、終了が21:30となると話は別。東京行き最終の新幹線は21:32。公共交通機関で帰宅するのは不可能なのだ。

月曜日の夜開催という「なんやねん」というサポ的に非常に厳しい日程にもかかわらず、選手達は鬼門の大本「ビッグ」アイでの初勝利をあげた。ならば、同じく「なんやねん」日程、同じく未勝利の地、「ビッグ」スワンでの初勝利をあげようではないか。

チームが苦しい状況にある今、一人一人のサポの声が選手を勇気づけるはず。月曜日休みを取って新潟泊もよし、夜通し高速を帰宅するもよし、万難を排して新潟に参じよう!

トモニイコウ! We are KOBE!



THINK BACK 2009

金南一のアップ中の怪我により、馬場を先発させることになった神戸。雨でスリッピーながらも、両チームとも積極的な攻撃で「50-50の試合」(指揮官C)だった。

マルセウを中心に茂木・馬場・朴・田中らが、やや雑ではあるが積極的に攻撃し、試合を優位に進める。一方、個に頼りがちな守備は、ピッチの状態と持ち直した新潟攻撃陣により徐々に体力を失い、ファール過多。声出し役の宮本の負傷交代以降は、統一感を失った守備で間延びし、残り10分でFKとクリアミスで2失点し終戦となった。

残念ながら、「勝ちの種」は神戸からこぼれていった。



THINK BACK 2008 - 反抗の契機 -

2008シーズンの新潟アウェイは9月23日、結果は2-3の敗戦。しかし、この敗戦はただの敗戦ではなかった。

この年、ヴィッセルは4月のガンバ戦で2得点をあげて以来、5ヶ月の間、複数得点がないという深刻な得点不足にあえいでいた。結果、敗れたとはいえ、久しぶりの2ゴール。前半は散々な出来だった試合だったが、後半ははじめから吉田が投入されると、持ち味の前線からの積極的なプレスが冴え、チームが目覚めたのがはっきりと分かった。

敗れたものの、翌節からの5連勝のきっかけになった試合として、記憶に残る試合だった。

マスコット研究所 第4回

DATA アルビくん(父)、スワンちゃん(母)、3つ子のアーくん、ルーちゃん、ビくん
白鳥がモチーフ



丸みを帯びたデザインは「やさしさ」「かわいらしさ」を、王の象徴である冠をつけた姿は「力強さ」をも表現している。2002年にスワンちゃんと結婚し、チーム創設12年目のサポーターズイヤーの2007年に3つ子が誕生。名古屋の師匠をしのぐマスコット界一の大家族となった。

某サッカー専門紙のマンガでは心配性で犬嫌いのキャラが確立されている。



✓ トップチーム	1 GK 榎本 達也	28 GK 嘉味田 隼	29 GK 紀氏 隆秀	30 GK 徳重 健太	2 DF 小林 久晃
4 DF 北本 久仁衛	5 DF 河本 裕之	14 DF 宮本 恒靖	15 DF 大屋 翼	23 DF 近藤 岳登	25 DF 石櫃 洋祐
33 DF 富田 大介	6 MF エジミウソン	7 MF 朴 康造	8 MF 松岡 亮輔	10 MF ボッティ	11 MF ポポ
16 MF 楠瀬 章仁	17 MF 吉田 孝行	18 MF 田中 英雄	24 MF 三原 雅俊	9 FW 我那覇 和樹	13 FW 大久保 嘉人
19 FW 有田 光希	21 FW 茂木 弘人	26 FW 高橋 祐太郎	27 FW 都倉 賢	31 FW 小川 慶治朗	32 FW 三島 康平
34 FW イジェミン	35 FW 永井 謙佑	VISSEL KOBE 2010			

✓ KOBE AWAY PRESS (仮) からのご協力をお願い

KOBE AWAY PRESS(仮)を他のお友達にすすめていという方や自分のお店において配ってもいいよという方は大歓迎です。一人でも多くのサポーターを誘ってアウェイゴール裏に駆けつけましょう!



KOBE AWAY PRESS(仮)のPDF版ダウンロード、およびKOBE AWAY PRESS(仮)に関するお問い合わせは、以下のURLにアクセスしてください。

KOBE AWAY PRESS (仮) PDF版ダウンロード
<http://kobeap.net/>
 発行: KOBE AWAY PRESS(仮) 編集部



編集後記

今回は久しぶりの発行となったKOBE AWAY PRESS(仮)。いつまで(仮)やねん、と突っ込みどころ満載ながら#5まで来ることが出来ました。これはスタジアムなどで受け取って下さる皆さんや、twitterでアドバイスを下さる皆さんがいらっしゃるからこそです。本当にありがとうございます。

チームは今、苦しい立場におかれています。そんな時だからこそ、私達は皆さんとトモニ、アウェイ戦を盛り上げてチームの勝利に貢献したいと考えています!次回、第32節大宮戦にて発行の予定です。それではまた、スタジアムで。(go)